

文部科学省 教職課程の基準に関するワーキンググループ(第4回)

2019年7月23日(火)

玉川大学教師教育リサーチセンター

玉川大学 学長
小原 芳明

1. 教員養成における単位の実質化への取り組み
2. 4年間を通じた教職課程指導・支援体制
3. 教員養成の質保証に向けた教職課程の全学体制による組織の運営
4. 教員養成評価への取り組み
5. PDSA

1. 教員養成における単位の実質化への取り組み

16単位CAP制度と教職課程科目

(1) 1学期(16週)16単位CAP制度

- ・履修登録の上限単位を半期(各セメスター)16単位
- ・4年間での総単位数 128単位で学士号

(2) 教職課程科目の履修

- ・全学部の教職課程科目全科目が、その学部・学科の卒業単位に含まれる
(教育実習の単位も同様)

教職課程の質保証

- (1) 教職に関する専門の学修
 - ・教師としての資質能力を身につける
- (2) 学科における専門の学修

学士課程教育と教職課程の教育を、相互に同様な枠組みの中に位置づける

教員養成の質保証に向けた新たな学科の設置

- (1) 芸術学部芸術教育学科
 - ・音楽教育コース、美術・工芸教育コース
 - (2) 文学部英語教育学科
 - (3) 文学部国語教育学科
- ◆ 小学校2種免許状の取得も可能
サマーセッション(3週間)、ウインターセッション(3週間)

2. 4年間を通じた教職課程指導・支援体制

2019年度玉川大学教職課程受講学生数(1～4年生)

学部	免許種	人数
文学部	(中)社会、(高)公民 <small>令和元年度のみ</small>	13
	(中・高)国語	192
	(中・高)英語	153
農学部	(中・高)理科、(高)農業	125
工学部	(中・高)数学、(高)工業・情報	189
教育学部	幼稚園	373
	小学校	746
	(中)社会、(高)公民	103
	(中・高)保健体育	185
芸術学部	(中・高)音楽	110
	(中・高)美術、(高)工芸	35
リベラルアーツ学部	(中・高)国語 <small>令和元年度のみ</small>	15
教職課程受講者数合計		2,239
全学生数		7,178

各学年における教職課程受講支援プログラムの概要

(1) 1年次

- ・教職の意義と基礎理論を学び、教養を身につける
- ・教職課程ガイダンス、模擬試験、1日参観実習

(2) 2年次

- ・教科指導法の基礎を学び、実践的指導力の基礎を身につける
- ・ガイダンス、模擬試験、論作文の基礎、介護等体験、学校ボランティア、インターンシップへの積極的参加

(3) 3年次

- ・教職、教科の専門性と実践力を養い、教育現場に学ぶ
- ・ガイダンス、模擬試験、論作文・面接対策、学校ボランティア、インターンシップへの積極的参加、教育・保育実習

(4) 4年次

- ・3年間の学習成果の確認とそれをふまえての補完と総まとめ
- ・教員採用試験受験に向けた直前対策と教員就職までの準備、学校ボランティア、インターンシップへの積極的参加、教育・保育実習

1年次生(2019年度 636名)への参観実習の導入

- 1年次生教職課程受講者全員を対象に。教える立場、教師の目線から、学校の1日を体験。
- 教育現場への理解を深め、教職に対する自覚を促し、進路選択の機会を与える。

- (1) 事前指導
- (2) プロフィール文書作成
- (3) 参観実習受け入れ校との事前打ち合わせ
- (4) 参観実習
- (5) 報告書の作成

3. 教員養成の質保証に向けた教職課程の全学体制による組織の運営

教師教育リサーチセンター

(1) 2012年度より設置

- ・「質の高い教員養成」の実施に向けた具体的対応
- ・学生支援と研究活動支援

(2) 教職課程の履修、免許状申請にかかわる支援

- ・介護等体験、教育実習、学校ボランティア、インターンシップ
- ・学部・学科、教学部との協働
- ・課程認定申請

(3) キャリア形成支援

- ・教職サポートルームの運営
園長・校長・教育行政経験者による相談・支援
模擬授業や論作文・面接対策支援
- ・教員採用試験対策支援

(4) 全学教職課程運営

- 教学部と教師教育リサーチセンターの協働による教職課程カリキュラムの検討・構築
- 教職課程委員会の運営
教師教育リサーチセンター長を委員長とし、各学科の教職担当教員が委員

(5) 学内全体で教職課程の質を担保

- 教職に関する科目は全学共通で、多くは教育学部が開設
- 教科に関する科目はそれぞれの学科の開設科目
- シラバスのチェック
上記の科目は教師教育リサーチセンターがチェック

○ 研究活動支援

- (1) 教員免許更新講習
- (2) 紀要・年報の発行
- (3) 学内向け「教職課程FD・SD研修」の実施
- (4) 教育委員会との連携
- (5) 文部科学省委託調査研究事業
- (6) 「教師教育フォーラム」の企画・運営

等

4. 教員養成評価への取り組み

試行評価の受審

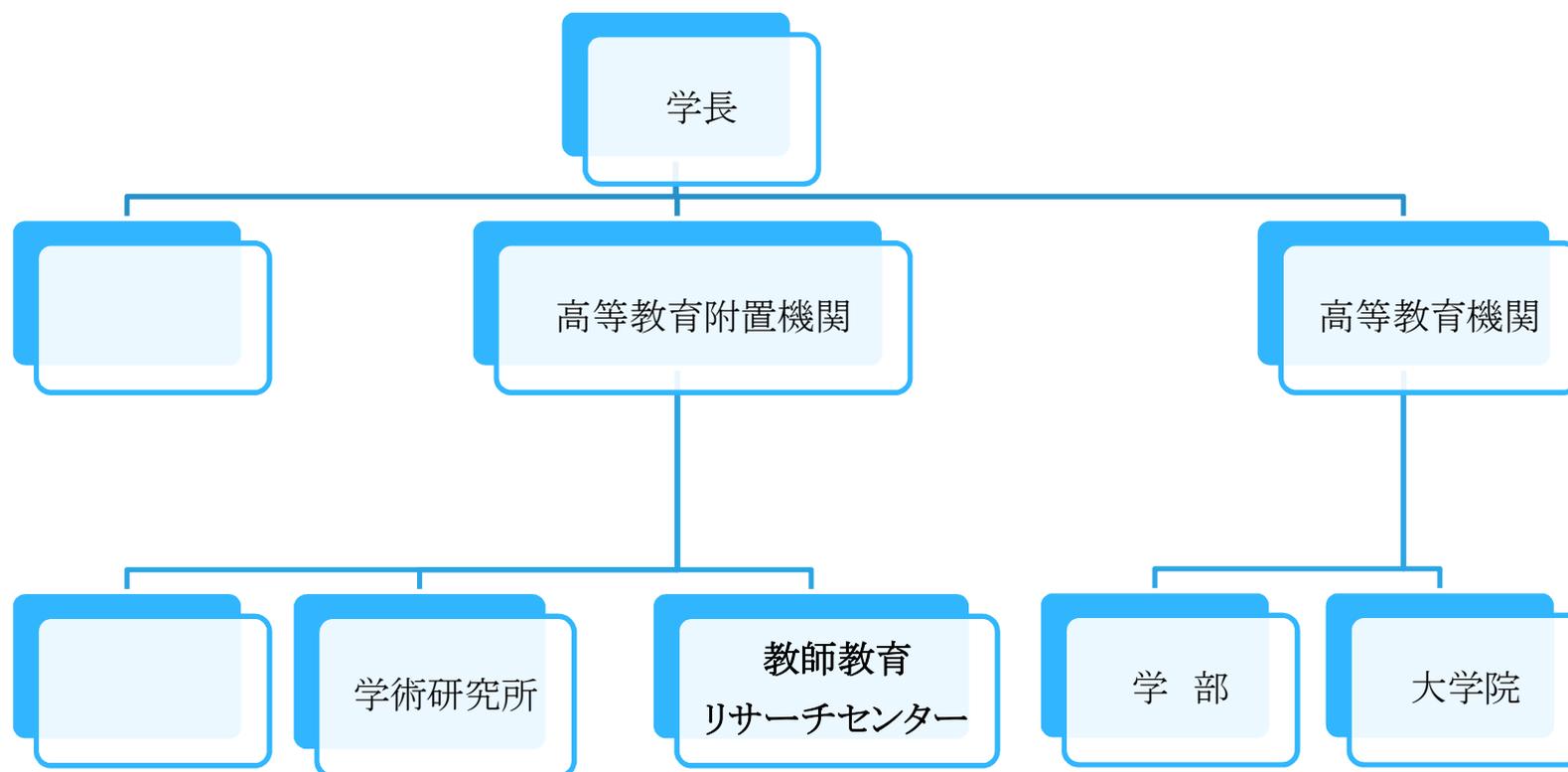
- (1) 東京学芸大学 教員養成評価開発プロジェクト
による試行評価の受審
 - ・平成25年度――農学部・教育学部
 - ・平成26年度――工学部
- (2) 教員養成の現状を客観的に振り返ることができた
- (3) 学部内での教員養成に関する情報の共有化や、方向性の確認
- (4) 学部内において教員養成に関する使命・責任を再認識する機会
- (5) 学部と教師教育リサーチセンター、学内部署との教員養成に関するコンセンサス

これは、全学に共通する教師教育リサーチセンターがあったため、可能であった。

5. PDSA

- (1) 教職課程受講学生に対する支援プログラムや体制の効果・有効性の検証と、支援プログラムの見直し
- (2) 組織体制や活動内容に関する課題の抽出と課題解決に向けた対策案の策定
- (3) 研究活動成果の学生支援への活用方法
- (4) 科目数の限定
- (5) 全学開講科目
教職演習(教育実習前、教育実習後)

(6) 組織



教員の採用が可能

ご清聴ありがとうございました